

小中一貫教育推進室

1 小中一貫教育推進事業

従来の小学校 6 年間、中学校 3 年間という枠組みから、義務教育 9 年間を一体的に捉えた新たな視点で、つながりのある教育を進めていくことが求められている。

三木市では、令和 3 年度を「小中一貫教育元年」と定め、市内の全学校において、小中一貫教育の推進に取り組んでいるところである。

また、吉川地域における施設一体型小中一貫校の設置方針の決定に伴い、教育内容や組織体制の在り方をはじめ、設置までの具体的なプロセス等について検討を進めているところである。

(1) 中学校区における「めざす 15 歳（12 歳）の姿」の具現化に向けた取組

9 年間を見通した教科カリキュラムの素案や留意すべき児童生徒の「つまずきポイント」の作成に向け、中学校区教科部会を立ち上げ、小・中学校教員による協議の活性化を図った。

(2) 小中一貫教育実践推進校（別所中学校区・吉川中学校区）による取組実践

実践推進校による取組は 3 年目を迎えた。1 中 1 小の環境を活かし、教員による 9 年間を見通した教科外カリキュラムの素案作成や相互授業参観をはじめ、児童生徒のさらなる交流活動など、より実践的な教育活動に取り組む中で、小中一貫教育の成果や課題を明らかにした。

(3) 小中一貫教育ワーキンググループによる協議

各中学校区から選出した代表教員 6 名で組織する小中一貫教育ワーキンググループを令和 6 年度も立ち上げた。小中一貫教育の推進に向け、校種を越えて、課題の確認や解決に向けた方向性等について、先進校視察も含め年間 6 回にわたって意見交換や協議を行った。

(4) 小・中学校教員交流研修の継続実施

小学校、中学校及び特別支援学校の教員が、中学校区内の異校種の学校において研修することを通して、相互の教育活動及び教育内容等についての理解を深めるとともに、教員の資質及び指導力の向上をめざすことを目的とする小・中学校教員交流研修を継続実施した。

今年度は研修対象者枠をさらに拡大し、より多くの教員が研修に参加できるようにした。

区分（項目）	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度 （目標）
異校種の学校で交流研修を行った教員数	17 人	31 人	44 人	44 人	累計 185 人

(5) 先進地視察

	視察先	視察内容	視察日
1	亀岡市教育委員会	川東学園及び育親学園の整備方針について地域協議会に向けた打合せ	4 月 17 日
2	高砂市立高砂小中学校	研究発表視察	5 月 14 日
3	能勢町立能勢ささゆり学園	施設一体型小中一貫校の施設設備の見学	5 月 31 日
4	加東市立東条学園小中学校	施設一体型小中一貫校の施設設備の見学	6 月 7 日
5	三田市水泳指導視察	三田市水泳指導視察（コナミスポーツ）	7 月 8 日
6	寝屋川市立望が丘小・中学校	施設一体型小中一貫校の施設設備の見学	8 月 20 日
7	豊中市立庄内さくら学園	施設一体型小中一貫校の施設設備の見学	8 月 22 日
8	加東市教育委員会	開校準備委員会について	8 月 28 日

9	府中市立 府南学園	小中一貫校の施設設備の見学 (小中一貫教育サミット)	8月27日
10	府中市立 府中明郷学園	小中一貫校の施設設備の見学 (小中一貫教育サミット)	8月27日
11	府中市立 府中学園	小中一貫校の施設設備の見学 (小中一貫教育サミット)	8月27日
12	姫路市立 豊富小中学校	小中一貫校、義務教育学校の自主研究発表会	10月4日
13	高砂市立 高砂小中学校	小中一貫校の施設設備の見学 (小中一貫教育推進授業研究会)	12月2日
14	春日井市立 鳥居松小学校	特色ある教育 「書道科」授業及び学習環境の見学	12月4日
15	箕面市立 彩都の丘学園	特色ある教育交流学习「異年齢2・8年」 小中一貫校の施設設備の見学	12月5日
16	亀岡市立 亀岡川東学園	小中一貫校の施設設備の見学	2月4日
17	亀岡市立 育親学園	小中一貫校の施設設備の見学	2月4日
18	京都教育大学付属 京都小中学校	研究発表視察「9年間カリキュラム」	2月7日
19	箕面市立 彩都の丘学園	特色ある教育 「異年齢交流1～9年(9年生を送る会)」	2月26日

2 吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に向けた取組

施設一体型小中一貫校の設置方針の決定に伴い、地域等から幅広く意見を聴取するための組織及び関係他課との連携・協働体制の構築に向けたプロジェクト組織の立ち上げを行った。

(1) 「吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会」の設置

小中一貫校の在り方について、保護者や地域の方などから幅広く意見を聴取するため、地域協議会を発足した。

委員は、区長協議会やまちづくり協議会をはじめ、就学前の子をもつ保護者や小・中学校のPTA、学校運営協議会の代表者、小・中学校長で構成し、児童生徒の将来を見据えた「子ども主体の学び」に視点を当てて協議を重ねている。

	内容	開催日
第3回地域協議会	京都府亀岡市教育委員会指導主事による講演 事務局説明(意見交換) ・めざす生徒像について ・大切にしたい教育内容と施設設備の在り方について ・検討すべき用地と選定基準について 先進校視察について	5月9日
第4回地域協議会	事務局説明(前回の質疑に関する回答) グループ討議による意見交換 ・教職員部会による意見集約について ・先進校視察の結果について	7月4日
第5回地域協議会	事務局説明 ・教職員部会の開催状況について ・学校用地選定の考え方について	8月9日
第6回地域協議会	事務局説明 ・教職員部会の開催状況について ・基本構想の策定について ・学校用地選定の考え方と用地の整理について	11月7日

(2) 学校設置に向けた庁内組織体制の構築

部長会を小中一貫教育推進本部と位置づけ、市としての取組の方向性について合意形成を図っていく。また、プロジェクト部課長会を立ち上げ、関連業務の調整や進行管理を行うとともに、関係各課の代表者で構成するワーキングチームを発足させ、横断的な体制で協働しながら業務を進めているところである。

(3) コンサルタント業者との意見交換

施設一体型小中一貫校の施工実績がある業者との意見交換を通して、学校設置までのプロセスやスケジュール感等について継続的に情報収集を行っている。

3 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の導入

近年、学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、「社会総掛かり」で子どもを育成することが求められている。

子どもの育成について地域・保護者・学校が一体となり協働していく仕組みとして、学校内に校長（教職員）と地域・保護者等の代表者からなる「学校運営協議会」を設置し、「地域とともにある学校づくり」を進めていく。

(1) 令和6年度導入校への支援

令和6年度導入校	内容	実施日
別所小学校、別所中学校 (小・中合同型)	地域学校協働活動推進員情報交換会	4月5日
	学校運営協議会事前打合せ	4月25日
	第1回学校運営協議会	6月3日
	第2回学校運営協議会	7月3日
	学校運営協議会事前打合せ	7月18日
	学校運営協議会事前打合せ	8月28日
	第3回学校運営協議会	11月11日
	第4回学校運営協議会事前打合せ	2月19日
	第4回学校運営協議会	2月19日
	第5回学校運営協議会	3月3日
自由が丘中学校	地域学校協働活動推進員情報交換会	4月5日
	第1回学校運営協議会事前打合せ	4月25日
	第1回学校運営協議会	5月24日
	第2回学校運営協議会	7月3日
	第3回学校運営協議会	9月4日
	第4回学校運営協議会	11月20日
	第5回学校運営協議会	2月4日

(2) 令和7年度導入予定校、地域や関係団体への事前周知活動

令和7年度導入予定校	内容	実施日
三木中学校	学校への説明①	5月23日
	市民協議会（三木）への説明	9月3日
	市民協議会（細川）への説明	9月18日
	市民協議会（口吉川）への説明①	9月25日
	市民協議会（口吉川）への説明②	10月29日
	学校への説明②	1月21日
	学校への説明③	3月6日
三木東中学校	学校への説明①	5月23日
	市民協議会（三木南）への説明	8月2日
	学校への説明②	1月31日
	学校への説明③	3月6日
三木特別支援学校	学校への説明①	6月4日
	市民協議会（商工会議所）への説明	8月20日

	学校への説明②	1 月 10 日
	学校への説明③	2 月 21 日

今後は小学校へのコミュニティ・スクールの導入について検討していくとともに導入校のさらなる取組の充実を図る。

(3) 学校関係者及び委員候補者への研修

コミュニティ・スクールの意義や必要性、良さについて、学校関係者や地域の学校支援者の理解促進を図ることで、コミュニティ・スクールの円滑な導入を進めることを目的とした研修会（理論、実践）を2回実施した。